

# 平成30年度自己評価結果報告書

## 【自己評価のねらい】

具体的な目標や計画 評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、園長はじめこども園教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設環境の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 【基本方針】

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て支援事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

## 【教育・保育目標】

- ① 分から取り組んでいく心（意志）  
子どもの自己肯定感を育み、困難なことにも自信を持って意欲的に取り組むことができる力を養う。
- ② 友だちを大切にできる心（感情）  
乳児は集団の中でも一人ひとりの成長を大切に育てます。  
幼児は異年齢で育ちあう中で、互いが尊敬し合い、共感し合い、協力し合える力を育む。
- ③ 分で考えていく心（思考）  
子どもの「なぜ?」「どうして?」を大切にしながら、自然の不思議さや命の尊さを感じる力を育む。

## 【1、2歳児クラス】

1、2歳クラスは、保育者と子どもが、まず信頼関係を築けることが最も大切な事と考えています。初めてお母さんと離れて過ごすこども園が、何の不安もなく楽しみでいられるように、お母さん、お父さんと過ごす時間と同じような安心感の中で過ごせるように、環境作りをしています。

## 【3～5歳児クラス】

3～5歳児は、年少・年中・年長児の混合縦割りクラスを採用しています。年齢の異なる幼児間のかかわりは、年下の者への思いやりや責任感を培い、また、年上の者の行動への憧れを生み、自分もやってみようとする意欲へと繋がります。生活主体は異年齢クラスとしながらも、年齢別での活動や異年齢クラス同士の交流などを取り入れ、子どもたちが多種多様な経験を積んでいけるよう環境づくりをしています。

### 具体的目標・計画

#### ① 教育課程・指導

- ・年間指導計画、週案、月案などの作成
- ・チーム保育などでの職員間の連携

・日案、週案、月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。

・当番などで、部屋を離れる時や有休時に担任の先生に代わり部屋に入ってくれる職員に対して申し送りなどを行い、その日の保育が運営できるように努めている。

#### ② 保健管理について

- ・乳幼児に対する日常の健康観察
- ・環境検査の実施感染症対策
- ・感染症対策（手指消毒、除菌）

・園児の登園時や、保育室では常に目を配り、日常と変わりがないか観察。

・毎年1度、委託業者による水質検査、清掃を行う。

#### ③ 安全管理について

- ・防災用品の購入
- ・登降園時の送迎車や自転車の誘導
- ・電子錠による施錠

・災害時に向け、防災頭巾、大人用ヘルメット、拡声器を購入。

・定期的なAEDの電池残量確認。

#### ④ 組織運営について

- ・教職員への職員の心得、経営方針の周知（年度当初）
- ・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）

- ・年度当初に教職員で、職員の心得、経営方針の読み合わせを行った。
- ・個人情報の取り扱い方や、守秘義務についても周知した。

## ⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・資質向上のため全教員が園外研修へ参加

・各保育士、園外研修への参加は積極的に行っているが、園内研修に関してはシフト制の勤務体制ということもあり、全職員が集まるのが難しく、園内研修を中々行えてない。今後は、シフトや時間等を工夫し園内研修を行い、全職員が同じ意識を持っていくようにしていきたい。

## ⑥ 情報提供

- ・園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供
- ・HPやブログを通して園内の情報を提供

- ・園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知している。
- ・HPの最新情報やブログにより、園の最新情報を提供。

## ⑦ 子育て支援

- ・「みどり児クラブ」、「親子当園広場」
- ・放課後の「園庭開放」
- ・相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」

未就園児の親子教室を週1回、親子広場を週3回開催している。対象年齢を分けて、教室を開催することにより、月齢に合ったものを提供できている。

## ⑧ 預かり保育

- ・教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育を19時まで行っている。
- ・就労の有無に関わらず、リフレッシュを兼ねての利用も可能。

## ⑩ 教育環境整備

- ・遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。

・園庭や園舎など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。

・修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告。その後、速やかに修繕等の対応を行う。

## 学年別達成状況・評価・反省

### 1-2 歳児クラス

- ・愛情豊かな保育者との信頼関係を築き、安心して自己主張したりする。
- ・基本的な生活習慣を身につける。
- ・気持ちの自己コントロール。
- ・様々な物に好奇心や関心をもち自分の思いを表現する。

一人ひとりの発達に応じた関わりをすることで、身体的発達もしっかりし、自己主張もしっかり出来ていた。ルールや約束事を生活に取り入れていく事で、気持ちの切り替えもスムーズになり、達成感や満足感を味わい次の活動にも進んで行えるようになった。

### 年少児

- ・集団生活に慣れ、友達と関わり遊べるようになる。
- ・遊び生活を通して自分の思いを自分なりの言葉で表現する。

言葉の理解が貧しい子に基本的な生活習慣が身につくのに3学期までかかったが、ほとんどの子が3学期までには達成出来た。言葉でのトラブルがあったがトラブルから仲良くなったり、遠慮せず関わられるようになった。ルールのある遊びから様々な子と遊ぶことが出来ていた。

### 年中児

- ・自分の思いを言葉にして伝えられると共に相手の気持ちも考えられる思いやりの気持ちをもつ。
- ・集団生活や遊びのルールを守りながら活発に遊び、仲間意識を育てる。

個人差はあるものの、自己主張はだいぶ出来るようになってきた。しかし、自分の思いを我慢して譲る等の課題は残る。

## 年長児

- ・グループやクラス全体の中で自分の役割を見つけ自主的な態度がとれるようになる。
- ・友達との関わりの中で相手の気持ちが分かるようになり、言うてはいけないことが分かるようになる。

クラスの中で、年長児としての目標を達成することで、全体が信頼できるようになり、一人ひとりの役割を持てるようになっていった。沢山の言葉を知り、きつくなってしまうたり、自己中心な子がでてきてしまい、相手のことを考えられるようになるまで時間が掛かることもあった。

## 園務分掌

A... 達成された B... おおむね達成された C... 要改善

分掌	◆問題点 *検討点 ★良かった点	評価	次年度への改善点
式関係 (始終業式・卒園式)	◆終業式は配布物や、持ち帰るものが多く慌ただしい。時間の余裕があまり無い。 ◆卒園式の準備が直前にバタバタしている所もあった。予行練習を本番に近づけるほうが良いのでは？	A	→事前に配布出来るものは配布するなどの対応がしたい。 →本番さながらの雰囲気作りを行う。
季節行事、伝統行事等	★子ども達が伝統に触れる事を楽しめた。	A	→会については、1-2歳児は、見学だけでなく、「参加」できる工夫がほしい。
食育	★色々な作物を栽培したり、食材などに触れ、作ったものを食べたりと充実した活動を行うことができた。 ★1-2歳も作物を観察したり触れたり良い経験になっている。	A	→今後も継続し、さまざまな野菜に興味をもってもらおう。 →1-2歳児にも可能な、植物や野菜などの栽培に取り組む。 →委託業者と連携をとりさらなる充実を図る。
避難訓練	★全学年で行っているなので、気付いた点などを全職員で話し合える。	B	→いざという時に備え、抜き打ちの訓練も増やしていった方が良い。
安全指導・安全点検	★ハサミ、粘土ヘラ、箸などの使い方を繰り返し行うことで、安全に使用することが出来た。	B	→危険行為がないよう、今後も見守りや声掛けを行っていく。 →チェック表をつくり、環境に対し

	<p>*危険箇所などや環境整備などを各クラスで行えると良い。</p>		<p>て敏感に過ごせるようにする。</p>
遠足	<p>★自然に興味がもてたり、異年齢との関わりがあり良かった。</p> <p>★保護者の作ったお弁当を食べる機会にもなり、保育者や友達と楽しく過ごせた。</p> <p>*毎年同じ場所である。</p>	B	<p>→園外保育などを増やしていき、外に出る機会を増やす</p> <p>→場所の検討を行う</p>
夏季保育・水遊び	<p>★ビオトープやプールでの約束が守れ、事故なく楽しく過ごせた。</p> <p>★夏季で担任が不在の時も、職員の連携がしっかり取れていて、事故無く過ごせた。</p>	B	<p>→今後も熱中症や、水の事故に気を付けながら水遊びを楽しむ。</p> <p>→遊べるおもちゃが限られているので、年齢に合ったおもちゃがあると良い。</p>
1-2歳児・3-5歳の連携	<p>◆1-2歳、3-5歳の教諭が子どもの年齢に合った互いの行事に対して理解していない。</p> <p>★3-5歳の子ども達が、1-2の子ども達の事を気にかけるようになった。</p>	B	<p>→こども園の教諭としてきちんと理解していく。</p>
幼小連携	<p>★卒業までに育てたい姿の目標を決めることによって、具体的に保育内容を計画することができた。</p> <p>★各小学校との園児状況の引継ぎを行った。年度末には指導要録の写しの送付を行い円滑な連携を持った。</p>	A	<p>→目標の見直しを行い、実態に合った計画を立てる。</p>
地域との連携	<p>★鹿島神社での大払い式への参加。</p>	B	<p>→雨天時の対応の検討。</p>
園外研修	<p>★研修で学んだ事を園全体で共有出来た。</p> <p>★興味のある研修に参加できた。</p>	B	<p>→今後も積極的に探して参加を増やしたい。</p>
懇談会、面談	<p>*決められた時間の中で終えることが出来なかった。</p> <p>★園と家庭での様子を伝え合う場となり共通理解が出来た。</p>	B	<p>→事前に伝えたい事をまとめ、きちんと園での様子を伝えていきたい。</p>
クラス別のコ	<p>★クラスの様子や子ども達の様子（悩み等）話し合うことも多く、行事の仕事も</p>	A	<p>→情報交換をし、コミュニケーションを沢山とってクラスだけでなく全</p>

コミュニケーション	<p>上手く調整をつけて行うことが出来た。</p> <p>★乳児会議を週に一度行い、製作や連絡、行事等の話し合いを行うことができた。</p>		<p>体でみるという形にしていきたい。</p> <p>→他のクラスへの気配りを心がける。</p> <p>→声を掛けあい、共通意識を持てるように心がける。</p>
遊び	<p>★遊びの中で発見や楽しさが生まれるよう、ごっこ遊びの環境作りの考え方を配慮できた。</p>	A	<p>→遊ぶ中でルールや約束事をこまめに伝える。→子ども達との時間をとれるよう努力する。</p>
子どもに対しての言葉かけや関わり	<p>★1対1で子どもと向き合い関わる事が出来た。</p> <p>◆教育者という立場での言葉かけを工夫していきたい。</p>	B	<p>→子ども達や後輩職員の手本になるよう心掛けたい。</p> <p>→子ども達の思いや気持ちに寄り添い理解して行く事で、情緒が安定し心の優しい子になると思う。子どもの内面を理解しながら保育を行っていきたい。</p>
職員会議など	<p>◆会議録だけでは見落としや、意味が伝わらないことがあった。</p> <p>*会議録の書記が偏ってしまっている。</p> <p>★各クラスの様子が周知出来る。</p>	B	<p>→会議後、書記は記入したものを確認してもらう。</p> <p>→回数などを記録し公平にしていく。</p>
施設・設備	<p>◆職員での点検はしているが、専門業者の点検をしばらく行っていない。</p>	B	<p>→腐食などの劣化は見られないものの、次年度は専門業者への点検依頼をする。</p>
その他	<p>*1-2歳に比べ3-5歳は、園外保育が少ないので、出掛ける機会を増やしたい。</p> <p>◆全職員が一同に話し合うことが中々出来ないため伝達が難しい。</p> <p>*保育園児が増加傾向の中、父母の会役員のなり手が少なくなっている。</p>	B	<p>→月に一度でも良いので、近くの公園や広場などに散歩に出掛けたい。</p> <p>→それぞれが声を出し合い、気付いたことなど、声を出し合う。</p> <p>→負担のない父母の会運営や、やりがいのある運営が行われるよう園として積極的に関わっていく。</p>